



2020年4月14日

各 位

会 社 名 鴻池運輸株式会社
代 表 者 名 代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦
(コード番号:9025 東証第一部)
問 合 せ 先 代表取締役兼常務執行役員
経営企画本部本部長 竹島 徹郎
TEL 03-3575-5753

**「サントリーと協働し、マジックラック(R)、無人フォークなど自動化設備を導入
『海老名流通センター』が本格稼働を開始
来夏目途、食品・飲料新倉庫を5拠点開設、総投資額100億円超を計画」**

当社は、住友重機械搬送システム株式会社製の自動格納ラック「マジックラック(R)」や、オムニオンダ株式会社製の垂直搬送機など、多彩な自動化設備を導入した、サントリー製品向けの高効率な配送拠点倉庫「海老名流通センター」を本年3月、神奈川県海老名市に開設。4月から本格稼働を開始しました。また、鴻池運輸 北関東流通センター内の平置き倉庫で改善を重ね、実使用を開始している三菱ロジスネクスト株式会社製の無人フォークリフトも、今後導入予定です。

つきましては、本日添付のニュースリリースを行いましたので、お知らせいたします。

以 上

サントリーと協働し、マジックラック[®]、無人フォークなど自動化設備を導入

「海老名流通センター」が本格稼働を開始

来夏目途、食品・飲料新倉庫を5拠点開設、総投資額100億円超を計画

鴻池運輸株式会社(本社：大阪府中央区、代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦、以下 鴻池運輸)は、住友重機械搬送システム株式会社製の自動格納ラック「マジックラック[®]」^{*}や、オムニヨシダ株式会社製の垂直搬送機など、多彩な自動化設備を導入した、サントリー製品向けの高効率な配送拠点倉庫「海老名流通センター」を本年3月、神奈川県海老名市に開設。4月から本格稼働を開始しました。また、鴻池運輸 北関東流通センター内の平置き倉庫で改善を重ね、実使用を開始している三菱ロジスネクスト株式会社製の無人フォークリフトも、今後導入予定です。

^{*}マジックラック[®]は、住友重機械搬送システム株式会社の登録商標です。

また、これに先駆け新拠点「青梅流通センター(東京都青梅市)」の稼働を3月に開始しており、6月には海老名流通センターと同様にマジックラックなどの自動化設備を導入した「愛西流通センター(愛知県)」の竣工も控えています。さらに2021年夏ごろを目途に長野、北海道にも新倉庫を相次ぎ開設する予定で、食品・飲料製品向け倉庫の総投資額は5拠点でおよそ100億円超を見込んでいます。

今回の海老名流通センターは、住友商事株式会社が新設した鉄骨4階建ての「SOSiLA 海老名」内の3階と4階部分を鴻池運輸が借用。主にサントリー製品を対象に、配送センターと製品の備蓄倉庫として開設され、サントリー-MONOZUKURI エキスパート株式会社(本社：東京都港区台場、代表取締役 小嶋 幸次、以下 サントリー-MONOZUKURI エキスパート)と鴻池運輸の食品プロダクト本部、鴻池技術研究所、東日本支店などが協働して検討を重ね、高効率な保管と作業動線の短縮化による省力化などを実現できる、マジックラックの導入を決定し、稼働を開始したものです。

マジックラックは、一般的な自動格納ラックと比較して、①建屋に合わせた自由なラック配置②天井高が限られた倉庫内でも高密度保管が可能などの利点があります。さらに、昨今多発する地震などの災害時にも、マジックカー(自走搬送機器)がレールを挟む方式のため、レール上を動く台車方式よりも落下リスクが低いこと、また万が一、荷崩れした場合でも手動のメンテナンスカーを使用して作業が行えるため、比較的早期復旧が期待されることなども、選定の要因となりました。



海老名流通センターが入居するSOSiLA 海老名の外観
(画像提供：住友商事株式会社)



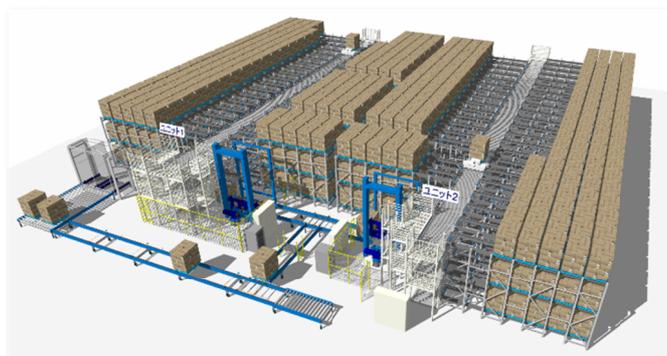
海老名流通センター内のマジックラック

【鴻池運輸の食品倉庫における自動化推進について】

鴻池運輸は、さまざまな現場での業務経験やノウハウと、徹底的な現場目線による請負現場課題の改善・改革提案力において、サントリーをはじめ多くの製造業やサービス業のお客さまから高い信頼をいただきながら、140年もの長きにわたりお客さまと共に成長・発展を続けてまいりました。一方、昨今の労働時間の適正化や慢性的労働人口不足という課題に対応すべく、多くのお客さまと共に自動化・省力化による現場の労働負荷軽減への取り組みを加速しています。

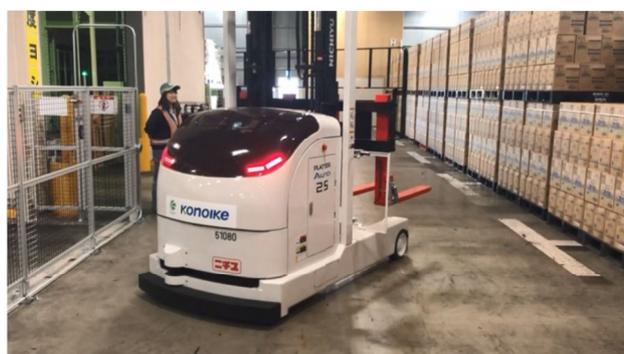
特に、今回の海老名流通センターでは、サントリーMONOZUKURI エキスパートと一昨年から議論を重ね、最適な自動化・省力化とBCP対応力を高めるライン設計を目指し、当社の現場における知見を盛り込みつつ、具体化を図りました。

さらに、昨年4月に鴻池運輸 東日本支店管内のサントリー製品向け倉庫である北関東流通センターに試験導入した、三菱ロジスネクスト製の自動フォークリフトが、イレギュラーへの対応が求められる平置き倉庫内での改善を重ねて、すでに実使用において順調に稼働しており、海老名流通センターをはじめ、今後他の倉庫内での導入も進めてまいります。



<マジックラックのイメージCG>

(画像提供：住友重機械搬送システム株式会社)



北関東流通センターで稼働中の無人フォークリフト

■海老名流通センターの概要と特徴

| 名称 | 海老名流通センター | (ご参考) 青梅流通センター |
|-------|--|------------------------------------|
| 延床面積 | 9,276 坪(3・4 階) | 16,125 坪(全 1 棟) |
| 規模 | 地上 4 階建倉庫 | 地上 3 階建倉庫 |
| 搬送設備 | EV2 基、垂直搬送機 8 基 | EV2 基、垂直搬送機 5 基 |
| 特徴 | 低床式バース、マジックラック導入 | 低床式バース(1 階)、高床式バース(2 階) |
| 稼働開始日 | 2020 年 3 月 2 日入庫開始 (4 月 14 日本格稼働開始) | 2020 年 3 月 2 日入庫開始 |
| 所在地 | 神奈川県海老名市中新田 5-18-1 SOSiLA 海老名 | 東京都青梅市末広町 2-9-13 Landport 青梅 II |

(報道関係者様お問い合わせ先) 鴻池運輸(株)広報室 岩切、古屋、竺原 <tel:03-3575-5753>

■鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

| | | | |
|------|---|------|---|
| 商号 | 鴻池運輸株式会社 ※東証 1 部 | 代表者 | 代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦 |
| 大阪本社 | 大阪府中央区伏見町 4-3-9 | 東京本社 | 東京都中央区銀座6-10-1 |
| 創業 | 1880 (明治 13) 年 5 月 | 会社設立 | 1945 (昭和20) 年5月30日 |
| 資本金 | 1,723百万円 (2019年3月31日現在) | 従業員数 | 約25,000名 (連結) (2019年3月31日現在) ※臨時雇用者数を含む |
| 売上高 | 294,158百万円 (連結、19年3月期) | 営業利益 | 10,976百万円 (連結、19年3月期) |
| 事業内容 | 請負サービス(製造業界向け、サービス業界向け)、物流サービス(国内物流、国際物流) | | |

以上